

令和3年度 第1回 学校関係者評価委員会 結果報告

1. 日 時：令和3年10月18日(月) 13:30～15:00
2. 場 所：白河厚生総合病院附属高等看護学院 講堂、オンライン(ハイブリット方式)
3. 会議の概要：
 - 1) 自己評価委員からの報告
 - (1) 令和3年度の方針・行動計画について
 - ① 令和3年度 運営方針書
 - ② 令和3年度 教育体制
 - ③ 令和3年度 会議計画
 - ④ 令和3年度 学校安全教育計画
 - (2) 教科外活動計画
 - (3) 学生の状況
 - ① 入学生の状況
 - ② 令和2年度 卒業生の進路状況
 - ③ 第110回看護師国家試験の結果
 - (4) 看護基礎教育の改正カリキュラムについて
 - (5) その他
 - 2) 学校関係者評価委員からの対話による評価
4. 学校関係者評価委員からの対話による評価(ご意見・ご質問)および現状と課題

学校関係者評価委員の評価	現状と今後の取り組み
1) 有事の際の災害教育の必要性について 学校において、教科外活動として災害訓練等を実施しているが、自然災害の増加もあり災害教育の必要性和災害発生時の学院と病院の連携が必要ではないか。	現状として以下の3点を中心に、災害教育・災害対策を行っている。①教科外活動で避難訓練2回、災害訓練、不審者対策訓練の実施。②学生に防災リュック、災害ポケットマニュアルの準備。③災害時用飲料水の常備。また、今後新カリキュラムにおいて[災害看護]の教科目新設を予定している。さらに今後は、病院と協力し、実習内でのオリエンテーションを通して安全教育、災害教育の強化を図ってきたい。災害発生時の学院と病院の連携に関しては、今後検討していく。
2) 臨地実習における病院と学院の指導連携について 学生数が増加している現状もあり、なお一層連携して指導を行っていく必要がある	実習指導者委員会での話し合い、情報共有など、密に連携を図り協力しながら学生の教育に取り組んでいきたい。